

# ナタネ越冬後のグルホシネート液剤による雑草防除

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

## 1 部門名

普通作物－その他－雑草防除

## 2 担当者名

木田義信

## 3 要旨

畦間 70～75 cmで条播したほ場ではナタネ越冬後の雑草防除として中耕培土が行われているが、さらにグルホシネート液剤の畦間茎葉処理と組み合わせると有効である。

- (1) グルホシネート液剤の畦間茎葉処理は中耕の有無にかかわらず、散布時に発生していた雑草を処理できることから、抽苔期（全株数の40～50%が抽苔した日）より開花期（全株数の40～50%が開花した日）のほうが防除効果が高い（図1）。
- (2) グルホシネート液剤の畦間茎葉処理は中耕培土と組み合わせると防除効果が高くなる（図2）。
- (3) 処理は登録の使用方法を守り、ナタネの畦間を飛散防止カバー付きの散布機で散布する。

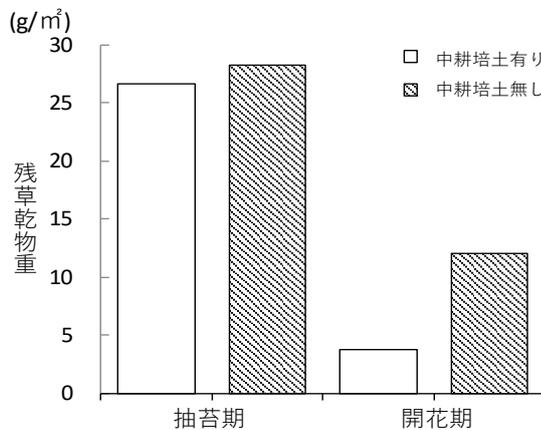


図1 グルホシネート液剤の畦間処理時期と残草量(2018年)

注) 中耕培土：3月27日。抽苔期処理：4月4日、開花期処理：4月16日

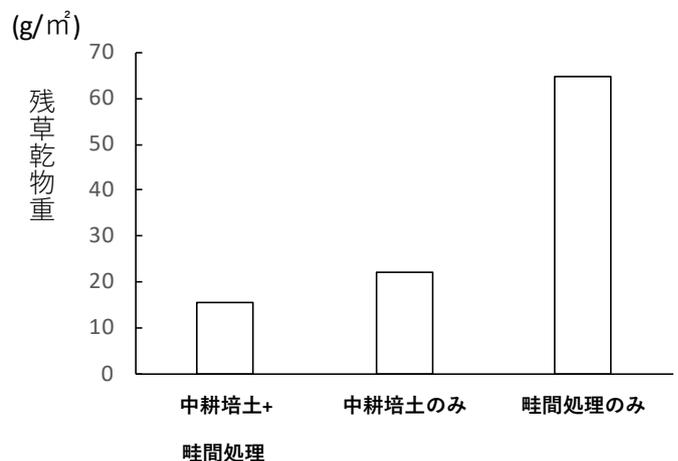


図2 中耕培土および畦間処理の組合せと残草量(2019年)

注) 中耕培土：3月26日、畦間処理4月9日(開花期)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成29年度～平成30年度
- (2) 研究課題名 地域性を活かしたナタネ優良品種の選抜と栽培体系の確立

## 5 主な参考文献・資料 なし